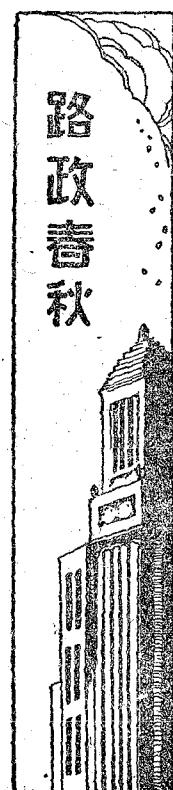


# 路政春秋



## 時代即應の產金道路

とは

朝鮮產金協議會では產金計畫遂行の基礎的要件である金山道路設定計畫を更正して三千萬圓を投じ千八百キロの金山道路を開設せんと意氣り立つて居るが更らに特殊鐵物の開拓にも資せんとして重要鐵物開發の鐵山道路をも敷設せんと企てらるゝ、交通道路、產業道路、軍事道路、鐵產道路、林道等各其用途に従つて種々な名稱を付したる道路が次から次へと開發されて行く之れも躍進日本の姿の一画面か。

## 大地は呼吸すとハテナ

大地は呼吸すと實に以て無氣味な學說が傳へらるゝ、大地の呼吸は道路の割目からでもするのかと見れば何の夫れとは大變な違ひである。周田氏の説に依ると地上には酸素が要るから土壤は常に酸素を吸ひ炭酸ガスを吐き出して二六時中休む時がない、所謂土壤呼吸である、此土壤呼吸は植物の根も與つて居るが主として微生物、目に見えない微生物の働きである。其の微生物は形こそ小さいけれど數から云へば普通の土でも一瓦の中に數千萬乃至數億の細菌を含んで居るから全體としては驚くべき結果を現はすこととなる。綠色植物が炭酸ガスを同化するのを建設的と見れば、反對に有機物を腐敗し分解する微生物は謂はば破壊

作用を受持つて居る。破壊作用と聞くと體裁が悪いが自然界では建設と破壊と兩々相俟つて初めて物質の循環滯ることなく、其流通變轉の間に生命の流れが存する譯である。流通變轉の間に生命の流れが存する譯である。大地の呼吸の理、妙の妙、玄又玄なるかなか。

## 狂音の聞流しは時局 柄？

客あり暑さと風なきとに呻きながら要談を試みる、息詰る様な「つぼ」室、汗は流るゝ脣間から、耳も遠くなるの思ひがす

### 注

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的寄稿を望む、「一文は四百字位にて取扱は編輯部宛のこと。原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

る折柄閉ゆる窓外、ひようしきの音に續いて竹刀亂打の音、更らにヤア〜とのかけ聲雜然混然耳をも聾するかと感ぜらる、客驚いて問ふアレは何事の狂音か、ラヂオ、電氣蓄音機太鼓拍子木その他の高音取締規則が強化され病者には勿論修養に瞑想に安眠に勉學に勤務に實に慈悲深い福音と喜んで居るに之れはまた何んたる無情な舉動ではないか、何故抗議を申込まないかとげんもなる問ひかな、だが此狂音の開流しは時局柄と隣りつき合の義理でねとソット答へたことである。

で居るに之れはまた何んたる無情な舉動で

はないか、何故抗議を申込まないかとげんもなる問ひかな、だが此狂音の開流しはあるが此狂音の開流しは

時局柄と隣りつき合の義理でねとソット答へたことである。

### 無用の用

物も無用なるが如くにして用を爲すことがあるが有用な器であると見らるゝ人物も案外無用なものがある、岡田氏の「無用の用」と題する一文に「天狗の麥飯と云ふ稀

代なものがあつて信州のあちこちで地の中から出る。正體は一種の微生物の塊だが、昔の行者は之を食べて山に籠つてゐたもの

があつたと傳へられてゐる。

世界中に餘り類の無いもので、凡そ日本

の存在と云ふ點では何處へ出しても恥しくないものだし、今日の時勢に頗る肩身が

廣い譯だが、殘念のことにはどうも時局の群をなして鐵道線路に現れこれがため列車

の車輪が空轉進行出來ぬ有様なので草を撒いてこの區間を辛うじて運轉する等、鐵道當局も全く悲鳴をあげてゐるが泊居町役場でもこれが退治につき目下苦心してゐると傳へらる、交通妨害を豫防することも中々容易な業でない。

あつて、その報告によると満腹の感を與ふれども焚卷價値はないと謂ふ、平たく云へば腹は膨れるが身にはならぬと云ふ。之では結局無用の長物と云ふ他は無いと諦めて

ゐた所、さる女性が之を聞いて、それこそ御説向の食物で、旨く味をつけて賣出したら婦人界に於ける歡迎疑ひ無く、恐らく注文に應じ切れまいと仰言る。

此非常時にさりとは心得違ひの話だが、また思ひかへして見れば巴里あたりには肥

滿を苦にしてゐる女性はザラにあるから、此處等を目的に味を工夫したら、それこそ輸出増進の一助ともならうかと笑つたこと

だつた。それにしても、之が麥飯でなく

て、天狗の麵麿とでもなつたら、猶更うま

い話なのだが」と何んだかクスグツタの話である。

奇怪な小虫が樺太西海岸泊居附近に發生し住民を慄然たらしめてゐるが發生区域は、大泊驛南方の鐵道官舍附近一帶で同地域の牧草地帶は食慾旺盛なこの虫のため喰ひ盡され丸坊主となつて居る許りでなく白晝は群をなして鐵道線路に現れこれがため列車

役に立ちさうな見込みがない。軍需品には向

### 路傍の石の反撥力

と題する大朝の記事は吾人の心臓を高鳴らせ頗る快心を覺へしめられたからソツクリ其の記事をかゝげる。

内務省神戸土木出張所給仕中山弘君（十九年）といふ一少年はさる昭和十一年三月神戸市兵庫高等小學校を卒業後、妻は土木出張所へ勤め、夜は神戸第二神港商業へ通ひ自下同校四年に在學してゐるが、本年五月行はれた小學校教員検定試験を受験、

永年にわたる螢雪の功成つて至難である検定試験の難關を好成績で突破、いよいよ小學校商業科專科正教員として近く新しき教員生活へ裏立つことになつた。

同君は兵庫縣赤穂郡相生町中山正平氏の一人息子で小學校時代から首席を争つた秀才兒であつたが、家庭の都合から中學校へ行けず、兵庫高小へ入學恩師井上繁治訓導現在神戸市東川崎小學校に奉職、淡路菊水町六丁目）の家に寄宿通學し同校を優等で卒業後土木出張所の給仕となつた。かくて午前八時から午後四時まで給仕生活午後

五時半から九時半まで第二神港で勉學そして夜は毎晩十二時すぎまで一心不亂に勉強した。その努力の花がこんど見事に實を結びこの「路傍の石」弘君は給仕から先生へのハイダンプを鮮やかになし遂げたのである。

「自畫像」オオガンの「タヒチの女」等世界の蒐集家が目を附けてゐる逸品の外にマチスの「裸婦」やドランの「風景」殊にモディリアニの肖像は彼の傑作中の傑作と云はれるもので近來その例を見ない競賣であった。名畫の運命も聖者の運命も。

## 世界的名畫も民族發展の障礙物？

ドイツ政府の所有になる近代名畫（ベル

リン、イエナ、フランクフルト等十數の美術館所蔵）がこの程スイスのリュセルヌに於て競賣に付せられて、歐洲畫壇の注目の的となつた。ナチス當局の意見によれば、

ぎ？

「百億貯蓄」の國策線に沿ひ東京でもかねてノ帝都だけで三十億圓を目標に町會貯蓄組合の結成に努めて來たが今度更に同運動の擴大強化を計るために新たに「東京市國民貯蓄獎勵委員会」を設け全市を「丸」として貯蓄報國運動に邁進することとなつた。これは從來の各町會を單位とした國民貯蓄組合を擴充すると共に各宗教團體、青少年人團、各種同業組合、各婦人團體その他にも協力を求めて團體毎に貯蓄組合を結成し貯蓄額の倍加運動を圖らうとするもの。